

設置型コンポストでの作り方

1

準備物

- …設置型コンポスト
- …スコップ(穴掘用)
- …床材
〈雑草・わら・もみ殻など〉

設置型のコンポストには
落ち葉や枯れ草も
入れられるよ!



生ごみはよく水分を切って、
その日のうちにコンポストへ
投入!腐ったものは
入れないでください。



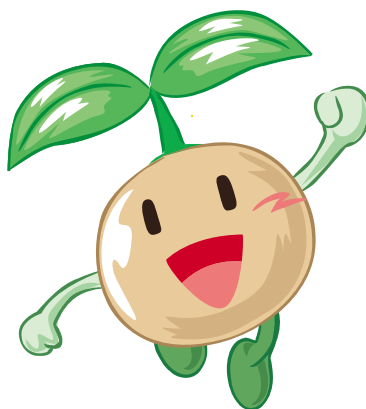
日当たりが良く、
水はけの良い場所に
設置しましょう!

10cm~15cm程度地面を掘って、
コンポストを埋めます。
雑草やわら、もみがら等を敷きます。
(2cm~3cm)



生ごみの
水分はよく
切りましょう!

大きなものは、
細かくすると
分解しやすいよ!



上から土や
枯れ草等を
かぶせます。

棒などで隙間を作るなどして、
通気性を良くしてください。

水分を調整
しましょう!

水分が多すぎると臭いの原因になります。臭い対策や水分調整に
土や枯れ葉、枯れ草などを入れましょう。枯れ葉などに付いている
細菌が、生ごみの分解を進めてくれます。

●設置型コンポストを使用した堆肥化の流れ

生ごみの
投入

発 酵

減 量

熟成期間

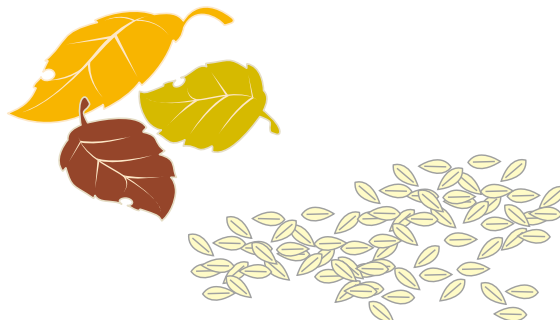
堆 肥



チェックポイント1 水分の調整

生ごみの80%以上が水分です。水分が多いと悪臭の原因にもなります。水分を吸収するもの(落ち葉や雑草、もみがら等)を入れて全体の水分(50～60%程度)を調整しましょう!

※入れすぎてもダメだよ!



チェックポイント2 発酵の促進

季節や温度によって生ごみの発酵(減量)の速さが違います。生ごみの投入に合わせて、発酵促進剤を使用するとより早く、発酵が進みます。



チェックポイント3 熟成期間と切り返し

堆肥として使用するためには、熟成期間が必要です。コンポストを取り外して、土やシートで覆うなどして3ヶ月程度熟成期間を取りましょう。また、1ヶ月に2～3回程度切り返して、酸素を入れてあげましょう!茶褐色の堆肥ができあがります。



●設置型コンポストの選択

設置型のコンポストには、いろいろな形、いろいろな大きさのものがあります!

コンポストの容量も100ℓのものから、大きなものになると500ℓといったものもあります。

家族の人数に合わせて、選びましょう!

購入した設置型コンポストは補助金の対象です。
購入額の1/2が市から補助されます。
詳しくは、P14を参照してください。



▲どちらのコンポストも150ℓタイプの標準的なコンポストです。